

NO.55

つくば アグリつうしん

茨城県県南農林事務所
つくば地域農業改良普及センター
〒305-0861
つくば市谷田部3951-5
TEL : 029-836-1109
FAX : 029-836-1816
E-mail : tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp

⇒⇒⇒

ホームページはこちら



将来の地域農業及び地域計画に係る座談会を開催



管内では農業者の減少により、担い手に農地が集積され、生産規模が拡大していることから、普及センターでは、担い手が将来に渡って効率的に営農していけるよう農地の集約を進めています。

また、管内の市町では、将来の農地利用の姿を明確にする「地域計画と目標地図」の策定が進められており、農地集約を含めた話合いが行われています。

このような中、普及センターでは、つくば市と連携し、令和5年12月5日に、「将来の地域農業及び地域計画に係る座談会」を開催しました。

座談会に参加した担い手約20名は、地域ごとに5グループに分かれ、耕作地図を囲みながら、現在の耕作地を確認するとともに、10年後の経営規模や耕作地の集積・集約について意見や希望を出し合い、話合いを進めました。

管内の他市町においても、将来の地域農業の維持・発展と農業経営の効率化による儲かる農業の実現に向けた話合いが、展開されています。

農業人材育成指導者養成講座(従業員向け)を開催

農業経営の発展には安定した雇用の確保・維持が重要ですが、「従業員を確保できない、定着しない」という悩みをもつ経営者が多く、従業員の確保や育成に関して多くの労力や精神的負担がかかっているのが現状です。

一方で、多くの従業員は、「仕事のモチベーションをどこに設定してよいかわからない」、「農業の就業環境は独特で、なかなかなじめない」といった漠然とした不安や悩みがあるように見受けられます。

そこで、つくば農業改良推進協議会では、いばらき農業アカデミーと連携し、農業法人等で働く従業員を対象に、働くモチベーションを高め、目標設定について学ぶ講座を開催しました。講座には農業法人等から21人の従業員が参加しました。

講座は、講演とパネルディスカッションの2部構成で行い、講演では、農業経営コンサルタントである株式会社農テラスの山下代表から、農業現場で働く際の心構えや、仕事の目標の設定の仕方などをお話しいただきました。パネルディスカッションでは、県内の農業法人で高いモチベーションを持って働いている3名の従業員から仕事への向き合い方などを伺いました。

受講した方々からは、「とても参考になった。従業員同士でもっと意見交換をしたい」、「受講生同士でグループディスカッションをやってみよう」などの前向きな意見が出されました。

今後も自立・自走できる従業員の育成に向けて、支援を行っていきます。



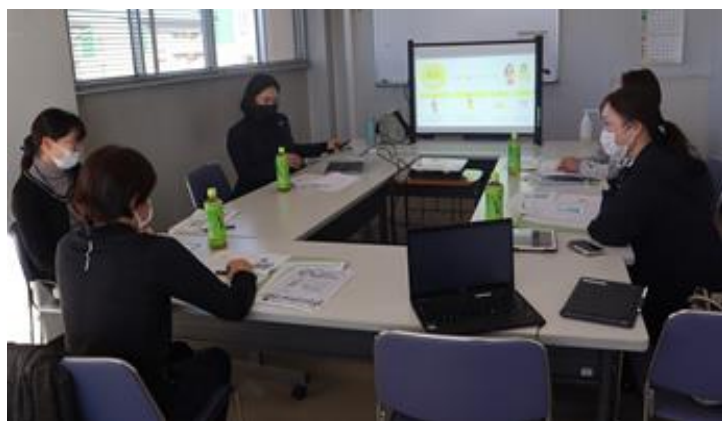
「伝わる」デザインを作ろう ～女性向けポップ作成講座を開催～

つくば地域には、独自に販路を開拓し、販売している女性農業者が多くいますが、他社との差別化や商品PRに課題を抱える方が少なくありません。そこで普及センターでは、女性農業者を対象に、店頭置く商品説明のポップの作成時に求められるデザインの基本や商品や農場のPR方法を学ぶ講座を開催しました。

講義では、講師の高橋美紀氏から、デザインは「伝える」ことが大事であるとの説明がありました。参加者は、レイアウトの考え方や、色の強弱などのデザインの基本的な手法の説明を受け、伝わるデザインの作成におけるポイントについて学びました。

実習では、無料で使えるデザインアプリを活用して、パソコンで商品説明のポップやInstagram投稿用の写真のデザインを作成しました。

基本操作を教わりながら、各参加者が作りたいポップやInstagramの投稿を、写真やイラスト、文字を配置してデザインすることができたほか、「伝えたいこと」を改めて考える機会になり、有意義な講座になりました。



● 県南地域農業学園にあなたも参加してみませんか？

当普及センターでは、新規就農者向けに県南地域農業学園（以下、「農業学園」という。）を開催しています。栽培技術や農業経営に関する基礎的な技術・知識を身に着けるため、今年度はネギやレンコンの栽培方法や農薬の使用方法といった栽培技術に関する講座や、大田市場視察研修といった販売に関する講座など、これまでに9回の講座を開催しました。

ネギ講座では、就農後10年あまりでネギの栽培面積を6.5haまで拡大し、経営を発展させた実績のある農業者を講師として、ネギの栽培ほ場を見学しながら特色ある栽培方法や規模拡大時の留意点について研修しました。また、大田市場視察研修においては、市場内を見学したほか、国内最大の青果物卸売会社である(株)東京青果の担当者から、販売方法や魅力ある農産物についてお話をうかがいました。

来年度の農業学園は、6月頃に開講する予定です。農業者同士の情報交換や仲間づくりの場にもなりますので、ご興味のある方は普及センターにお問い合わせください。



第5回「ネギ講座」の様子



第7回「大田市場見学」の様子

～技術情報～ 雪害対策について

●降雪が予想される前の事前準備

- ・屋根被覆資材の表面に雪の滑落を妨げる突出物がないか、事前に点検しましょう。（特に、防風ネットや外部遮光資材は忘れずに撤去しましょう。）
- ・パイプハウスの強度を高める支えや筋交いが適切であるか確認しましょう。
- ・暖房機を使用している場合、燃油残量を確認し、電源・配線等が正常に機能するか事前に確認しておきましょう。

●降雪時の処置

- ・屋根への積雪を確認した場合、内部被覆(二重カーテン)を開放し、暖房機で室温を高め、暖房機がない場合は地温の放射による室温の上昇を促しましょう。
- ・屋根への積雪が進んだ場合、施設倒壊の可能性があるため、ハウス内部への進入は控えましょう。

●降雪後の処置

- ・基本的には降雪が収まり、施設の安全が確認された時点で周辺状況のチェックや除雪作業等を行いましょう。
- ・除雪作業が長時間になることが予測される場合、よう燐・融雪炭カル等の融雪資材を使用し、雪解けを促しましょう。
- ・施設の損傷や被覆資材の切断部分等を修復し、室温の確保に努め、低温による栽培作物の生育障害・枯死等の被害を防止しましょう。
- ・除雪作業や施設復旧作業の際は、落雪や倒壊に細心の注意を払い、複数人での作業や、経験者の応援を要請する等、安全確保に努めましょう。

雪害や大雨、夏季高温対策等の災害対策はこちら



(茨城県農業総合センターHPIにて随時更新)



農業三士を新たに認定しました

茨城県では、農業の担い手育成と地域農業の振興をすすめる地域農業のリーダーを農業経営士、女性農業士、青年農業士として県知事が認定しています。

今年度、新たに次の方々が認定を受けましたので紹介します。



女性農業士



つくば市
松田 知世
(営農類型：露地野菜)

青年農業士



つくばみらい市
張替 靖史
(営農類型：普通作)

青年農業士



利根町
若泉 隆樹
(営農類型：普通作)

退任者

今年度、青年農業士の宇都野洋平氏が退任されました。長年にわたり地域の農業振興にご尽力いただき、ありがとうございました。



「農福連携」に 取り組んでみませんか

「農福連携」は、障がい者が農業で活躍することを通じ、社会に関わっていく取り組みです。

農業者も、障がい者が農作業に加わることで、働き手が確保でき、経営の発展に繋がるといったメリットもあります。

つくば地域でも、袋詰めなどの作業場での作業、定植、収穫や除草などを福祉施設に依頼している事例があります。

農福連携に興味がある方だけでなく、「どんな作業をお願いできる?」、「どこの福祉施設をお願いできる?」など、お気軽にご質問・ご相談ください。

農業いばらきのご案内

茨城農業を応援する「農業いばらき」は、会員制情報誌からスマホ向け無料WEBサイトに刷新しました。農業に関する特集や技術情報を「いつでも」、「どこでも」、「誰とでも」閲覧できます。最新の情報をお届けしておりますので、ぜひご活用ください。



農業いばらき



◀◀WEBサイトは
こちらから